

テーマ：観光（実践校）

根室管内 根室市立歯舞学園

本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する興味・関心を高め、愛着や誇りを育むため、総合的な学習の時間と他教科の学習を関連させ、産業や歴史、地域の魅力などについて調べるとともに、ICTを活用したPR活動を通して、ふるさとのよさを再発見するなど探究的に学習しました。

ふるさと教育・観光教育の実践内容

単元の目標

ふるさとのよさをPRする活動を通して、地域に根ざした産業や歴史、地域の観光資源について理解するとともに、地域の魅力についてICTを活用したPR方法を具体的に考え、ふるさとへの関心と愛着、地域へ貢献したいという気持ちを高めることができるようにする。

取組の様子

(1) 課題の設定

これまでの学習経験と生活経験を結び付けながら、ふるさとへの関心と愛着をもち、地域の魅力を伝え、地域の活性化へ貢献したいという課題意識を高め、「宿泊研修先の釧路市でふるさとのよさをPRしよう」という課題を設定しました。

(2) 情報の収集

歯舞漁業協同組合の昆布加工場見学と講話を通して、地域に根ざした産業や歴史について調査・取材を行うほか、地域の魅力について、Webページや観光パンフレット等で情報を収集しました。



【情報収集の様子】

(3) 整理・分析

特産品や、産業、歴史、グルメ、自然、イベントなどをPRすることについて、目的やPRする対象者の年齢等を考え、どのような内容や方法が効果的か協議し、産業や歴史、地域の魅力などの理解を深めました。

(4) まとめ・表現

釧路駅及び釧路空港で、作成したチラシや「はほまい昆布しょうゆ」を配布したり、動画コンテンツを紹介したりするなどのPR活動を行い、活動後の振り返りにおいて、ふるさとのよさや価値を再認識しました。



【PR活動の様子】

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る指導の工夫

- ・一人一人が目的意識をもって学習を進めることができるよう、課題の設定の場面で、学習経験と生活経験を結び付けながら、単元の学習活動や活動の方向性を見通す場面を位置付けました。
- ・PRしたい内容やまとめ・表現の方法について協議したり、1人1台端末を活用し、目的や用途に応じてツールを選択したりしながら、協力してチラシや動画コンテンツ等を制作しました。

実践の振り返り

- ・総合的な学習の時間を中心に、歯舞漁業協同組合、釧路駅、釧路空港等の関係機関と連携して教育活動を推進したことにより、豊かな学習活動を展開することができ、社会に開かれた教育課程の実現につながりました。
- ・地元への貢献に向けた意欲や課題意識を高める手立てを工夫することにより、地域についての理解を深め、ふるさとに対する愛情や誇りをもち、地域の課題を自分事として捉え、考えを発信することが期待できます。